

安佐医師会サーベイランス週報 第50週 平成28年12月12日(月)～平成28年12月18日(日)

地区	地 区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾 向	コ メ ン ト
	定点医療機関数	4定点	5定点	2定点	2定点	4定点	5定点	2定点	1定点	1定点	26定点		
	対象人口	75,115名	83,974名	38,432名	43,294名	57,093名	63,914名	19,542名	8,518名	1定点	389,882名		
	定点数当り人口	18,779名	16,795名	19,216名	21,647名	14,273名	12,783名	9,771名	8,518名	1定点	389,882名		
1	RSウイルス感染症			3			2			3	8	↑	<p>【第50週安佐圏域での各種感染症の動向】</p> <p>1.RSウイルス感染症:4→8件 3.A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:15→9件 減少 4.感染性胃腸炎:315→229件 減少 ...高陽は多い 5.水痘:2件...年間を通じ少なし 9.手足口病:2件 12.インフルエンザ:A型83→110件...ほぼ全域 B型1→1件 20.マイコプラズマ肺炎:7→5件...可部</p> <p>＜安佐地区 感染性胃腸炎の推移＞</p> <p>・検出状況:ノロGⅡ 99%...IASR47～49週 ・広島市内:集団発生20件 (高齢者施設1件 他は幼稚園・小学校) 学級閉鎖6件</p> <p>【ノロGⅡ 遺伝子型の検出状況】 2016/17 : GⅡ.2 90%, GⅡ.6 8% 2015/16 : GⅡ.4 60%, GⅡ.17 15%, GⅡ.3 13%, GⅡ.2 5%</p> <p>＜安佐地区 インフルエンザの推移＞</p> <p>・77→110件に増加、しかし緩い増加 ...ほとんどA型 ・全国の推移:AH3香港91% AH1pdm8% B型山形2% B型ビクトリア0% ・年齢分布:0～14歳>20～30歳代の二相性 5～9歳がもっとも多い ...医師会インフルエンザ発生動向より</p>
2	咽頭結膜熱					2	1				3	→	
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		5			3				9	↓	
4	感染性胃腸炎	49	5	19	8	59	80	5	4		229	↓	
5	水痘		1	1							2	↓	
6	手足口病						1			1	2	→	
7	伝染性紅斑	2					1				3	↑	
8	突発性発しん		1			2					3	↑	
9	百日せき												
10	ヘルパンギーナ												
11	流行性耳下腺炎												
12-A	インフルエンザ(A型)	24	20	11	10	22	12	9		2	110	↑	
12-B	インフルエンザ(B型)						1				1	→	
13	急性出血性結膜炎	1									1	↑	
14	流行性角結膜炎	1	1								2	↓	
15	麻疹												
16	風疹												
17	MCLS(川崎病)												
18	髄膜炎(細菌性)												
19	髄膜炎(無菌性)			1							1	↑	
20	マイコプラズマ肺炎	1				3				1	5	↓	
21	クラミジア肺炎												
22	その他			1							1	↑	
合計		79	28	41	18	88	101	14	4	7	380		
<p>広島市立学校での嘔吐・下痢による臨時休業措置の情報</p> <p>■上安小学校(安佐南区上安)【1年1組】学級閉鎖《12月16～18日(12月15日(木)決定)</p> <p>広島市立学校でのインフルエンザによる臨時休業の情報</p> <p>■高取北中学校(安佐南区高取北)【2年1組】学級閉鎖《12月20・21日》</p>													